

フェルトリペアソール 作業説明書

■作業前の準備

シューズをブラシでよく洗って、陰干しで乾燥させておきます。また次の道具を揃えて下さい。
【大型カッターナイフ・ラジオペンチ・大型ペンチ・木槌・紙ヤスリ・マジック】

■フェルト剥がし

1. ブーツとソールの張り合わせ面にカッターで1～2 cmの切れ目をつま先に入れます。ブーツの底を切ってしまうよう慎重に作業して下さい。
2. 切れ目が入ったらラジオペンチを使って少しずつソールを剥がします。ある程度まで剥がれたら大型ペンチに替えて、巻くようにして剥がしていきます。
3. 古いソールがすべて剥がれたら、ブーツのゴム底に残ったフェルトを紙ヤスリで落とします。



■ボンドの塗布

1. フェルトの上にブーツをのせてマジックで外形をなぞります。踵がついているブーツの場合は踵も忘れずになぞります。
2. カッターでラインの外側をだまかに切り取ります。ラインの内側を切ってしまうように慎重に作業します。
3. 添付されている広口ヘラをボンドの先にセットしてフェルトにボンドを塗布します。フェルトはボンドを吸い込んでしまうので必ず二度塗りをして下さい（一回目は薄く塗ってフェルト内にボンドの層を作るためです）。特にエッジ部分の塗り忘れがないように注意して下さい。
4. フェルトを乾かしている間にブーツの裏側にもボンドを塗ります。こちらは一度塗りで構いませんが、多い目に塗って下さい。



■ソールの張り合わせとカット

1. 指で触ってもベタベタしないくらいに乾いたら、いよいよソールとブーツを張り合わせます。ボンドの接着力はとても強力で一度間違った方向に張り合わせてしまうと修正が効きません。細心の注意を払って慎重に張り合わせます。
2. つま先や踵のエッジ部分の接着を確実にするために木槌などで叩いたり、ブーツを履いて体重をかけるようにします。
3. 張り合わせがしっかり出来たら、カッターナイフでブーツからはみ出した余分なソールを切り取ります。カッターを上下に小刻みに動かしながら切るのがキレイに仕上げるポイントです。踵の付いているブーツの場合は、この後に踵部分のフェルトを張り合わせます（必ずボンドの二度塗りをして下さい）。
4. 2～3日放置してボンドが完全に乾いたら完成です。



※モンベル以外の他社製シューズについては、作業内容を販売元にご確認下さい。